

# 物流技術管理士資格認定講座 2010年度結果報告(その1)

## ～新たに486名の物流技術管理士が誕生～

2010年度の物流技術管理士資格認定講座は、2011年3月25日(金)の第89期認定証授与式を持って全日程を終了いたしました。2010年度、新たに486名の物流技術管理士が誕生し、資格取得者累計も8,090名と、8,000名の大台を突破いたしました。ここでは、2010年度に開講した第84～87期の総代の方々の、本講座を受講しての感想をご紹介します。(第88、89期につきましては、次号でご紹介いたします。)

### 第84期(2010年5月～2010年11月:東京開催)

西濃運輸(株) 関根 康行



私は営業職として受講したのですが、毎月4～5回の講習に加え、前期レポート/テスト、後期レポート/テスト、そして卒業論文という全課程

を、渉外/管理/精算業務と並行して消化していくことは、想像していたよりも負担が大きく、苦しかったというのが正直な感想です。ただ、それだけに内容の濃い半年間となり、何ものにも変えがたい貴重な経験として蓄積されていることを実感しています。12単元のどれもが新たな出会いであり、発見であり、気づきでした。今まで物流に対してどれだけ無知であり学習してこなかったのかを思い知らされましたし、その反面、意欲的に講義に取り組むことができ、吸収しようと努力することができました。

また、講義を一方的に受けるだけでなく、グループ討論という形の中で、他業種・他業態の方々と1つの議題に取り組み、意見交換ができたことは、経験したくとも経験できないことで、このような機会を得られただけでも私にとっては大きな財産になると感じたことを強く記憶しています。まったく別の世界観(価値観)をもっている者が意見を出し合っているため、すり合わせの過程がとても興味深く、純粋な好奇心をもって望むことができました。

改めて、本講座を受講させていただいたこと、受講期間中に業務サポートをしてくださった仲間感謝すると共に、この度の講習で得られた知識・人脈を基に営業職務を通じて還元していきたいと思っています。

### 第85期(2010年6月～2010年12月:大阪開催)

東洋紡績(株) 新田 淳史



物流技術管理士資格認定講座を受講し始めてから、あっという間に10カ月が過ぎました。私は物流に携わって9カ月目ということもあり、様々な

知識を詰め込んでいた状況で本講座を受講しました。正直なところ、もう少し知識を整理してから本講座を受講したいという気持ちがありましたが、今考えてみると順を追って講座を受けたことで今まで学んできたことが整理でき、良かったと思っております。

初めのプレミーティングでは自分自身の知識が乏しく、メンバー全員が物流経験豊富な方ばかりであり、専門用語の飛び交うディスカッションでは理解に苦しみました。しかし、講義を重ねていくにつれ、知識を習得することができました。結果、最後の講義である物流総合演習では自分の意見が言えるようにまでなっており、講義の中で成長している自分が頼もしく思えるようになってきました。また、一緒に受講した方々とのランチや親睦会により生まれた受講生同士のネットワークも大きな財産となっております。

どれを取っても私にとってたいへん有意義な講義であり、今後も本講座で学んだことを活かし、さらにレベルアップしたいと考えています。残念なことと言えば、グローバルロジスティクスの単元が私の期にはなかったことです。

最後になりましたが、これまでにご指導賜りました講師の皆様方また、JILS事務局の方々に改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

第86期 (2010年7月～2011年2月：東京開催)

(株)日本アクセス 勝山 太一

冒頭に、2011年3月11日に発生した東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。



この度、約半年間にわたった「物流技術管理士資格認定講座」の全課程を修了し、「物流技術管理士」の称号を取得できたことを大変うれしく思っております。また、ご指導いただきました講師の方々や、事務局の皆様にご心からお礼を申し上げます。

私が「物流技術管理士資格認定講座」を通じて得たものは大きく分けて2つあります。1つ目は「スキル」です。講座では、ロジスティクスを実践していく上で必要な様々な手法や技術を教えていただき、物流に携わる者として最低限必要なスキルを得られたことは、私の大きな財産となりました。

もう1つは「仲間」です。認定講座には、荷主企業・3PL企業など様々な業種の方が受講されてきました。講座内で出題される課題に対して共に悩み、考え、答えを見つける中で、年齢や業種を越えた、たくさんの仲間ができました。講座終了後も、たくさんの仲間と情報交換を行い、交流をより一層深めています。

今後は、講座で得たスキルを実践していくと共に、同期の仲間と切磋琢磨しながら、お得意先様へ喜んでいただけるサービスを提供すべく、業務にあたっていきたいと思います。

第87期 (2010年9月～2011年3月：名古屋開催)

(株)デンソーロジテム 小川 隆子

2月12日、最後の論文試験を終え、「ほっ」として帰宅した私に、家族は「ママ、よく頑張ったね、お疲れ様」と労いの言葉をかけてくれました。



9月のオリエンテーションから約6ヶ月、講義・

レポート作成・試験勉強・論文作成・面接準備と「合格」の2文字を目標に、家族や職場の上司・仲間を支えてもらい頑張ることができました。名古屋への電車通勤では単元が進むにつれ、車内での予習・復習が欠かせなくなり、暮れの連休には大掃除もおせち料理も家族に任せ、初めて書く論文に悪戦苦闘でした。

講座では、企業や大学・行政の物流部門の第一線で活躍されている講師陣から専門的な知識・スキルを学び、今物流に求められている課題など、今後の取り組みに有意義な内容を体系的に教えていただきました。また、グループ討議や講義後の懇親会では異業種の方々や交流し、様々な実態を聞くことができ、長年、自動車部品の直納部隊というある意味特殊な分野に携わってきた私にとっては大きな財産となりました。

面接の1週間後、事務局からの「合格通知」に、思いがけず「最優秀者(総代)」の報せをいただき、上司も大変喜んでくれました。早速、来年度には習得した知識を活かした取り組みを計画するよう期待されており、心を新たに頑張る所存です。

最後に、この度の東日本大震災の被災者の方々からお見舞いを申し上げますと共に、様々な報道から物流の重要性を痛感しています。我々物流に携わる者が業種を越え、被災者の方々へ必要な物資を1日でも早く届け、尊い命を助けるべく、支援していきたいと思います。

＜物流技術管理士資格認定講座 2011年度開講スケジュール＞

開催期	開催地	開講期間	開催期	開催地	開講期間
第90期	東京	2011年5月10日～2011年11月22日	第93期	名古屋	2011年9月6日～2012年2月24日
第91期	大阪	2011年6月7日～2012年1月20日	第94期	東京	2011年9月15日～2012年3月9日
第92期	東京	2011年7月12日～2012年2月3日	第95期	大阪	2011年10月6日～2012年3月23日

\*詳細は、本誌p.41「2011年度物流技術管理士資格認定講座のご案内」をご参照ください。

## 物流技術管理士資格認定講座 2010年度結果報告(その2) ～新たに486名の物流技術管理士が誕生～

2010年度の物流技術管理士資格認定講座は、2011年3月25日(金)の第89期認定証授与式を持って全日程を終了いたしました。2010年度、新たに486名の物流技術管理士が誕生し、資格取得者累計も8,090名と、8,000名の大台を突破いたしました。ここでは、2010年度に開講した第88、89期の総代の方々の、本講座を受講しての感想をご紹介します。(第84～87期につきましては、前号でご紹介しております。)

### 第88期(2010年9月～2011年3月:東京開催)

キヤノンビジネスサポート(株)

千田 雄司

改めて、この講座を受講した半年を振り返ってみると、まずはスケジュール的に非常に厳しかったなという印象があります。特に講義が



多かった10～12月は繁忙期とも重なり、職務との両立に苦労がありました。しかし結果的には、それだけの価値は十分あったと感じています。

単元ごとに提出したレポートにも、毎回のように書かせていただきましたが、学ぶたびに今まで自分が行ってきた手法が、いかに思慮が足りず、工夫がなかったかということに気づかされてばかりでした。

私は、物流センターで従事しておりますので、講義を受けて職場に戻ると、現場の光景がまるで違って見えるような思いで、視野が広がっていくことが実感できました。その分、無駄な部分が目に付き、改善の必要性を感じ、仕事がどんどん増えていくのですが。

また、視野が広がるという点では、同期の方々との出会いを抜きにしては語れません。業種、業態、年齢、役職の違うメンバーとのグループ討議、それ以上にプライベートで話した裏事情などは、講義同様に物流業界の奥深さを教えていただいたと感じています。

最後に、この講座を受講させていただくにあたり多くの方々にサポートをいただきました。深く感謝すると共に、これからは「物流技術管理士」の名に恥じない仕事をしていきたいと思っております。誠にありがとうございました。

### 第89期(2010年10月～2011年3月:大阪開催)

日本通運(株) 萬代 俊郎

先日、宮城県の被災地を訪れました。目の当たりにした光景は、私の予想を遥かに超えるものでした。今回の東日本大震災は、様々な点から、物流の重要性を再認識させることとなりましたが、私は現在、廃棄物処理に係る業務に携わっており、この分野において、被災地の復興に少しでも貢献できればと考えております。



さて、認定証をいただいてから間もなく3ヶ月が経ちますが、私は4月に東京へ異動となりました。数日前、あるお客様を訪問し、名刺交換を行った際、いただいた名刺に「物流技術管理士」の文字がありました。一通り商談を終えた後、私も3月に資格を得たことを告げると、その方は、第8期生であり、今でも年に一度、同期の集まりに参加しており、仕事とは別の人脈を得たことが大きな財産であると話してくださいました。また、これも先日、同じ会社の同期生から聞いた話ですが、本講座受講によって知り合ったメーカーロジの方から、先般、大きな仕事をいただいたとのこと。これらの小さな出来事を通して、私はあらためて物流技術管理士という資格の可能性やネットワークの大きさを垣間見ることができました。

末筆ながら、今回の資格取得に当たっては、講師や事務局の方々はもとより、多くの方々に本当にお世話になりました。快く受講の機会を与えてくれた上司、そして留守中、いろいろとご不便をおかけしたお客様と職場の同僚、全ての皆様へ、この誌面をお借りして御礼を申し上げます。